

株主の皆様へ

平成24年4月1日～平成24年9月30日

第 114 期 中間報告書



「現地・現物・現人」による グローバル化の加速

- 現地で、現地の設備や材料を用いて、現地の人で経営できる体制を確立し、成長市場を中心にグローバルに事業を拡大

当社の企業理念

新しい技術の創造と新商品の開発を通じて
国際社会に貢献する
(For New Technology Network :
新しい技術で世界を結ぶ)

- ◎ 独創的技術の創造
- ◎ 客先及び最終消費者に適合した付加価値技術及びサービスの提供
- ◎ 着実な業績の伸長の下での社員の生活向上、株主への利益還元、社会への貢献
- ◎ グローバリゼーションの推進と国際企業にふさわしい経営・企業形態の形成

目次

トップインタビュー	2	連結財務諸表	11
NTNの新技术の創造と新商品の開発	5	次世代EVシステム事業の更なる展開	13
セグメント別の概況	7	会社情報	14
事業形態別の概況	9	株式情報	14

<見通しに関する注意事項>

本報告書には、NTNの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は本報告書で述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

NTNは、軸受（ベアリング）を主力商品としてグローバルに事業を展開する精密機器メーカーです。

1918年の創業以来、自動車をはじめ建設機械、航空機、鉄道車両、風力発電機に加え、医療や環境など幅広い分野で新商品を提供しています。



厳しい事業環境のもと、利益創出のための緊急対策を実施中

Q 当第2四半期の経営成績についてお聞かせください。

A 当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）における日本経済は、円高による輸出の低迷や世界経済の減速などを背景に、回復の動きに足踏みがみられます。海外経済につきましては、全体として減速感が広がっており、特に欧州の財政の先行き不安の高まりなどを背景とした金融面への影響や、中国の経済成長率の鈍化が懸念されます。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は、266,599百万円（前年同期比0.2%増）となりました。損益につきましては、営業利益は2,141百万円（前年同期比80.0%減）、経常損失は1,546百万円（前年同期は経常利益8,652百万円）となりました。なお、特別利益として投資有価証券売却益1,593百万円、特別損失として投資有価証券評価損2,280百万円を計上した結果、四半期純損失は1,734百万円（前年同期は四半期純利益3,725百万円）となりました。

なお現下の業績状況に鑑み、誠に遺憾ながら当期の中間配当は無配とさせていただきます。

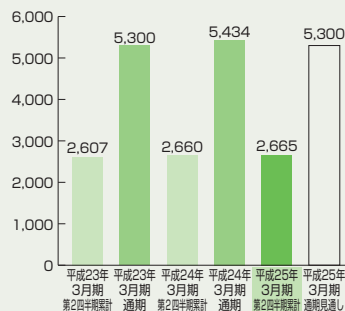


代表取締役会長 鈴木 泰信

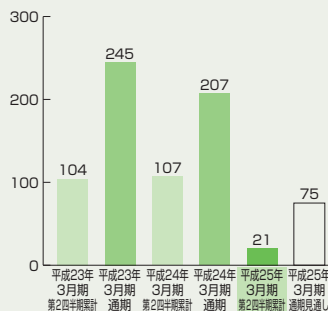
代表取締役社長 高木 重義

■ 決算ハイライト

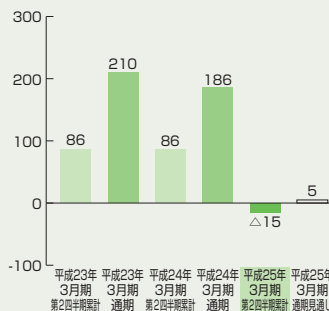
● 売上高(億円)



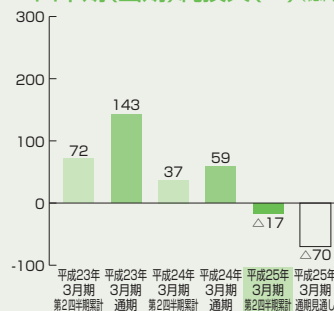
● 営業利益(億円)



● 経常利益又は経常損失(△)(億円)



● 四半期(当期)純利益又は四半期(当期)純損失(△)(億円)



Q

各施策の進捗と今後の課題について教えてください。

A

法令・規則遵守のための体制強化

当社は、ベアリング（軸受）の国内取引に関して、他の事業者と共同して販売価格の引上げを決定した疑いがあるとの理由で、昨年7月に公正取引委員会の立入検査を受け、本年4月には東京地方検察庁特別捜査部及び公正取引委員会による捜索を受けました。その後、6月に当社及び当社役員ら（当時）が独占禁止法違反行為を被疑事実として、公正取引委員会から告発され、東京地方検察庁から起訴されました。

海外においては、欧州の連結子会社が、軸受の取引に関してEU競争法違反の疑いがあるとの理由で、昨年11月に欧州委員会の立入検査を受け、米国の連結子会社が軸受の取引に関する情報の提供を求める召喚状を米国司法省から受領いたしました。本年7月には、韓国の連結子会社が、軸受の取引に関して独占規制及び公正取引に関する法律違反の疑いがあるとの理由で、韓国公正取引委員会の立入検査を受けました。また、当社及び米国の連結子会社が、他の事業者と共同して軸受の販売価格の引上げを決定したとして、米国において複数の民事訴訟（クラスアクション）の提起を受けております。

株主の皆様をはじめとする関係の皆様には、多大なご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。当社グループといたしましては、独占禁止法（以下、独禁法）を含めた法令・規則の遵守に努めてまいりましたが、こうした事態を厳粛かつ真摯に受け止め、独禁法の遵守を再徹底するための体制構築及び活動を推進しております。

昨年11月に「**独禁法（コンプライアンス）遵守委員会**」を発足させ、独禁法違反行為を予防する仕組みなどの制度見直しや、法令・規則遵守の再教育による意識強化に取り組んできました。

また、本年4月には「**公正取引監察委員会**」を新設して、代表取締役社長が委員長、国内外の営業・調達部門の担当役員、社外取締役及び外部弁護士を委員とし、営業部門と調達部門における独禁法や下請法を遵守した公正取引に係る実効的な統制を図るとともに、教育・啓発活動の実施状況を監督・

指導いたします。

同時に「公正取引監察委員会」の方針や機関決定を全社的に展開させる役割を担う「**公正取引推進室**」を新設しました。当推進室は、事業活動における独禁法・下請法違反の予防のための諸制度の効果的な運営、及び法令・規則の遵守に係る相談、あるいは法令・規則違反への牽制機能としての通報制度への対応業務などを専門的に掌る機能も有した常設部署です。

この体制で、継続的な教育・啓発などの実践と、総括的な統制の強化を実施しており、また海外におきましても、各地域の独禁法に対応した遵法体制の再構築に向けた取組みを進めております。

販売関連の施策

需要が増加する中国については、本年4月に「**中国事業本部**」を新設しました。内陸部の支店や代理店の拡大など、新しい販路の開拓や新事業の企画と推進を通じて、**中国における販売拡大を加速**しております。さらに、成長市場であるアセアン地域やインドなどの現地拠点の支援及び地域統括機能を強化するため、本年10月に「**アセアン・大洋州・インド・西アジア事業本部**」を新設しました。需要の拡大が期待できる同地区で販売拡大を加速してまいります。

また、補修・市販向けの販売を強化しております。自動車向けではNTN-SNR ROULEMENTSで培ったノウハウを、北米や南米、中国を中心としたアジアなどへも展開しております。産業機械向けでは、**設備補修サービス事業を強化**することで、鉄鋼・鋁山・製紙などのプラント補修案件の販売を拡大しております。

生産関連の施策

中国では、本年6月より、**恩梯恩LYC（洛陽）精密軸承有限公司**（河南省洛陽市）が、現地自動車メーカ向けに試作品の生産を開始しました。また本年10月より**南京恩梯恩精密機電有限公司**（江蘇省南京市）が、建設機械用、鉄鋼設備用や風力発電機用など各種軸受を、現地で材料から一貫生産を開始しました。

タイでは、2番目の生産拠点として**ピントン工場**（チョンブリ県シラチャ市）を建設しており、来年4月より等速ジョイントの生産を開始します。また同じ敷地内に生産前工程である鍛造・旋削を行う合弁会社、NTPT CO., LTD.を本年2月に設立しました。東南アジア地域において、材料から完成品までの現地一貫生産体制を確立します。

インドでは、2番目の生産拠点として**チェンナイ工場**（タミルナドゥ州チェンナイ市）が、本年10月より等速ジョイント及びハブベアリングの生産・販売を開始しました。

日本国内では、本年3月より石川県能登地区で**株式会社NTN能登製作所**が産業機械用の各種軸受の生産を開始しました。さらに7月に株式会社NTN志賀製作所の新工場の増設に着工しました。すでに同地区で稼働している株式会社NTN羽咋製作所、株式会社NTN宝達志水製作所とともに、産業機械用軸受のリスク分散と生産能力を強化してまいります。また本年8月より岡山県で**株式会社NTN赤磐製作所**が量産を開始しました。



南京恩梯恩精密機電有限公司（中国）



チェンナイ工場（インド）



株式会社NTN能登製作所



株式会社NTN赤磐製作所

研究開発関連の施策

昨年9月より「**複合材料商品事業部**」に、金型の製造や焼結合金の高圧成形などに非常に高い技術力を持つ、**日本科学冶金株式会社**が加わりました。粉末合金やエンジニアリングプラスチックなどの材料技術の連携を強め、新商品の開発に注力しております。

「EVシステム事業部」は、昨年10月に静岡県磐田市の公用車として、コンパクトEV（EV：電気自動車）の社会実証実験を開始、また本年4月からは世界初となる二人乗り小型EVの**実証実験**を静岡県で開始しました。さらに6月、欧州では、フランス・アヌシー市で「小型EV用インホイールモータシステム」を搭載した二人乗り小型EVの**実証実験**を開始、「欧州メカトロ展（EMM）2012」の展示会で最先端の技術を披露し、NTNのインテリジェントインホイールモータシステムが、**グランプリを受賞**、また9月に

もドイツのフランクフルトで開催された自動車アフターマーケット展示会「オートメカニカ2012」において**イノベーションアワードを受賞**しました。今後も次世代EV用システム商品の開発を加速させてまいります。

また、本年10月には、自動車向け商品の技術部組織を、これまでの当社商品体系に基づく体制から、お客様の使用用途に合わせた体制へ再編成し、「**ドライブレーン技術部**」、「**シャシー技術部**」、「**パワートレーン技術部**」を新設しました。自社商品だけでなく、研究開発の適用範囲を周辺部品まで含めた範囲に拡大し、高付加価値で、収益性の高い「モジュール商品」などの開発と提案を強化してまいります。

収益体質の強化施策

自動車向け事業の収益改善のため、設計、材料、生産工程などの抜本的な見直しによる原価低減を進めております。また収益性の高い**補修・市販向け**や**産業機械**、また**アジアや中国など成長市場**における**販売拡大**を図り、利益率を向上させてまいります。さらに現地生産の拡大と生産性の向上や、材料・部品さらに設備の現地調達、現地生産品の輸入などを積極的に進め、**為替に左右されない体制作り**を加速しております。

本年10月には、グループ全体の財務体質を強化するために、「**財務本部**」を新設しました。財務、資産及び資金の全面見直しと管理強化、国内生産子会社の活用促進、固定費の削減、棚卸資産の削減、設備投資の抑制など、**財務体質の強化**に取り組んでまいります。

当社グループは、昨年4月より平成26年3月までの3年間の中期経営計画「躍進2013」に取り組んでまいりましたが、世界各地の経済環境が大きく変化しているため、短期的な「緊急対策」を立案するとともに、「躍進2013」を全面的に見直し、「**構造改革**」を中心とした**新たな中期経営計画**を検討しております。

当社グループは、新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献するため、以上の諸施策を実施することにより経営基盤の一層の強化と業務の効率化に努め、収益向上に邁進する所存でございます。

株主の皆様には今後ともご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

軸受だけでなくユニット化・モジュール化・システム化に注力

「自己発電型潤滑油供給ユニット」の開発

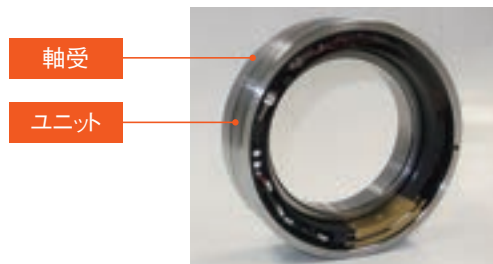
業界初！軸受の回転により自己発電する電力で潤滑油を供給

外部から電力や潤滑油の供給を行なうことなく、自己発電により軸受内部に長期間潤滑油の安定供給が可能な「自己発電型潤滑油供給ユニット」を開発しました。

工作機械用グリース封入軸受の長寿命化を目的に開発した当社の微量給脂技術に電子応用技術を加え信頼性を高めた業界初の技術です。回転時に発生する軸受の内外輪温度差によって発電し、内蔵のポンプを駆動して軸受内部に潤滑油を微量供給します。

特長

- 自己発電型電源や潤滑油タンクを内蔵し、外部からの潤滑油や電力の供給が不要
- 軸受や間座の組込みは、従来と同等
- 潤滑油の供給量や供給間隔をプログラム制御することにより、長期間安定した微量供給が可能



自己発電型潤滑油供給ユニット
(内輪側間座を外した状態)

軸受寸法 内径100mm×外径150mm×幅24mm
ユニット寸法 内径114mm×外径150mm×幅25mm

「風力発電機用状態監視システム(CMS*1)」の開発

風力発電機の認証制度であるGL**認証を国内で初めて取得

長年培った軸受診断技術を応用し、世界最小クラスのデータ収集装置を用いた「風力発電機用状態監視システム（以下、CMS）」を開発しました。

風力発電機のナセル*3内は、一般に主軸、増速機、発電機で構成され、多くの軸受や歯車など機械要素部品が組み込まれています。このため、軸受や歯車等の異常について発見が遅れた場合、故障が全体へ拡大する可能性があり、メンテナンス費用や工数の増大、長期の発電停止に繋がります。

当社が開発した「CMS」は、高精度な測定データを自動診断するほか、状態監視用各種ソフトウェアによって、遠隔地からリアルタイムに軸受や歯車等の状態を監視することが可能です。これにより、早期に各部位の異常を検出し、ナセル内の損傷拡大を防止するとともに、交換部品の事前手配や計画的な補修が行え、メンテナンス費用低減だけでなく風力発電機の稼働率低下を抑制できます。

既に複数拠点で実証評価を行っており、本システムを用いたモニタリングサービスをグローバルに展開し、風力発電機の稼働率向上に貢献します。



風力発電機用状態監視システム (CMS)

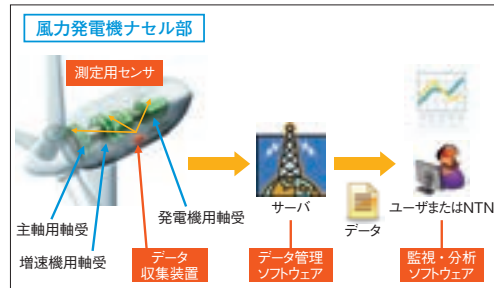
*1: Condition Monitoring Systemの略称

*2: Germanischer Lloydドイツのロイド船級協会、GL認証は世界で最も信頼される認証とされています。

*3: 風車のタワー上部にあり、主軸、増速機、発電機等を取めた部屋全体を指します。

特長

- 世界最小クラスのデータ収集装置（幅250mm×奥行290mm×高さ108mm）
→小型・省スペースのため、既存ナセルへの設置が容易
- 洋上をはじめ広範囲な地域に対応（使用温度範囲：-20～60℃）
→高い防塵防水性能
- 信頼性の高い診断情報
→高精度な測定で自動診断機能のほか、リアルタイムな監視・データ分析が可能



風力発電機用状態監視システム (CMS) の構成

創造と新商品の開発

世界各地の展示会に出展、当社の技術をグローバルにアピール

第26回日本国際工作機械見本市「JIMTOF2012」に出展

テーマ「次世代技術を提案し、もの造りを支えるNTN」

本年11月1日から6日まで、東京ビッグサイトにて第26回日本国際工作機械見本市「JIMTOF2012」が開催され、世界23カ国から850社が出展、12万9千人の来場者がありました。

当社は、『次世代主軸軸受及び技術』、『新しい位置決め機構』、『センサ技術』、『複合材料技術』の4ゾーンに分けて出展しました。

『次世代主軸軸受及び技術』のひとつである「自己発電型潤滑油供給ユニット」の展示のほか、『新しい位置決め機構』では「リニアモジュール」の動体展示、『センサ技術』では「回転・位置検出用TMRセンサ*」、『複合材料技術』では「高負荷用樹脂すべりねじ」を紹介いたしました。

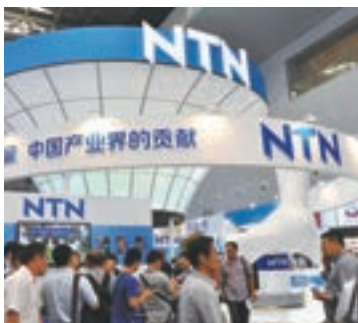
*トンネル磁気抵抗 (TMR) 効果を利用した最先端線形磁気センサ



NTNブース

2012 中国国際軸受展覧会「Bearing2012」に出展

テーマ「最先端技術の提案と中国産業界への貢献」



盛況のNTNブース

本年9月20日から23日まで、中国・上海市にて2012中国国際軸受展覧会「Bearing2012」が開催され、世界18カ国より軸受メーカーや代理店など約600社が出展し、約5万人の来場者がありました。

当社は、風力発電装置大型カットモデル（約4mのナセル模型）の動体展示をはじめ、新たに市場展開した風力発電機用状態監視システム（CMS）や風力発電機用軸受（主軸・増速機・発電機用軸受）を展示。また、鉄道車両、建設機械、工作機械向けなど、さまざまな商品を出展いたしました。また自動車分野では、NTNの最先端技術を盛り込んだEVシステム商品をはじめ、環境に貢献する自動車用軸受、CVJを幅広く紹介しました。



ナセル模型と風力発電機用各種軸受

欧州国際風力発電見本市「HUSUM2012」に出展

テーマ「Give your Premium Wind project, a local Premium Partner」

本年9月18日から22日まで、ドイツのフーズムにて欧州国際風力発電見本市「HUSUM2012」が開催され、世界90カ国から1,200社以上の企業が出展し、約3.6万人の来場者があり過去最大規模の開催となりました。

当社は、風力発電機のアプリケーション別に主要軸受納入実績を紹介。主軸用軸受は2.0MW用の各種軸受を展示したほか、2.5MW用の超大形急こう配複列円すいころ軸受などをパネルで紹介しました。増速機用軸受は軸受単体およびギア付カットサンプルで、また発電機用軸受は絶縁軸受メガオームシリーズやセラミックボールなどを出展しました。また風力発電機用状態監視システム（CMS）は世界的認証制度であるドイツのGL認証を取得したことも紹介いたしました。



NTNブース



主軸用軸受



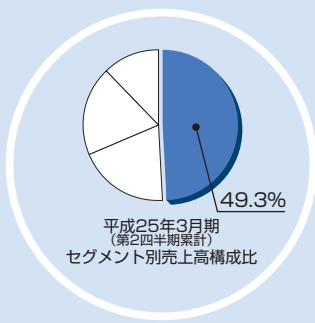
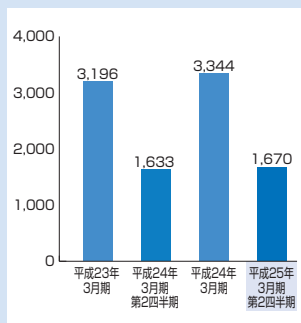
風力発電機用各種軸受

セグメント別の概況

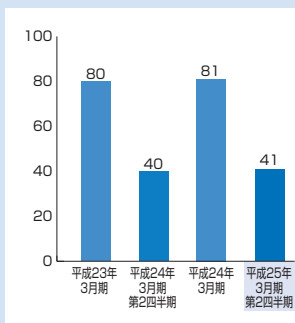
日本

販売につきましては、自動車市場向けは東日本大震災の影響による減産からの回復により全般的に増加しました。産業機械市場向けは、一般機械向けや客先の中国向け需要の減退により建設機械向けなどが減少し、補修・市販市場向けも減少しました。この結果、売上高は167,056百万円（前年同期比2.3%増）となり、セグメント利益は販売増加の効果などにより4,170百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

売上高推移(億円)



セグメント利益推移(億円)



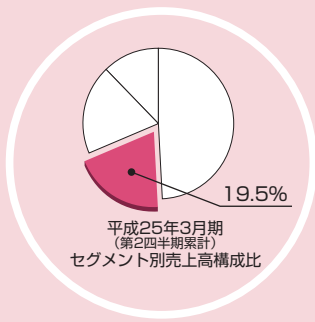
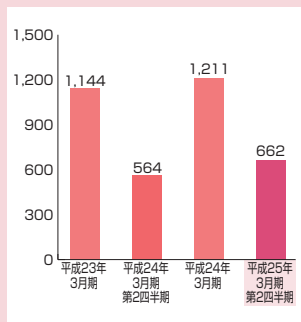
「現地・現物・現人」によるグローバル化の加速

- ・株式会社NTN能登製作所の生産開始
- ・株式会社NTN志賀製作所の新工場の増設着工
- ・株式会社NTN赤磐製作所の量産開始
- ・自動車技術部門の組織再編
- ・財務本部の新設

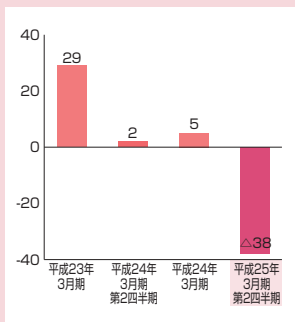
米州

販売につきましては、自動車市場向けは客先の需要拡大により全般的に増加し、産業機械市場向けも増加しました。補修・市販市場向けは自動車補修向け客先の需要減退などにより減少しました。この結果、売上高は為替の影響はありましたが66,230百万円（前年同期比17.4%増）となりました。セグメント損益につきましては、自動車市場向け販売の増加に伴う生産ラインの負荷増による特別な費用の増加などにより3,850百万円のセグメント損失（前年同期は228百万円のセグメント利益）となりました。

売上高推移(億円)



セグメント利益推移(億円)



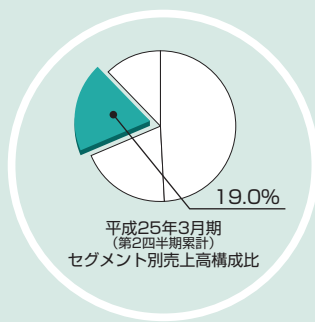
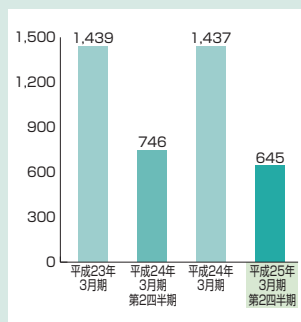
「現地・現物・現人」によるグローバル化の加速

- ・NTA PRECISION AXLE CORPORATIONの生産能力増強

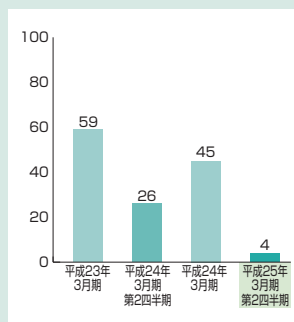
欧州

販売につきましては、財政不安を背景とした域内経済の鈍化により自動車市場向け、産業機械市場向け、補修・市販市場向けともに減少しました。この結果、売上高は為替の影響もあり64,559百万円（前年同期比13.5%減）となり、セグメント利益は販売減少の影響などにより422百万円（前年同期比83.8%減）となりました。

▶ 売上高推移 (億円)



▶ セグメント利益推移 (億円)



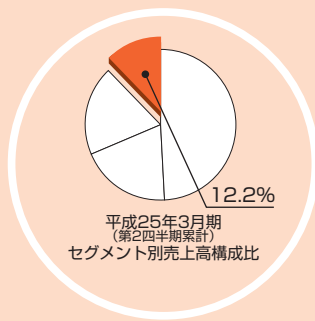
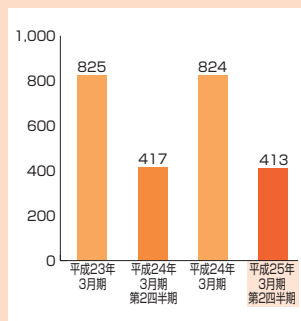
▶ 「現地・現物・現人」によるグローバル化の加速

・NTN-SNR
ROULEMENTSの
生産能力増強

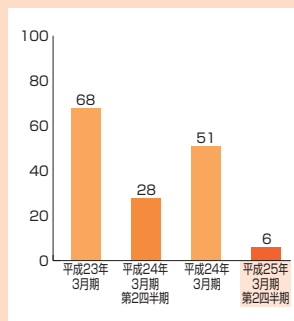
アジア他

販売につきましては、自動車市場向けは東日本大震災及びタイ洪水の影響による減産からの回復及び客先の需要拡大により全般的に増加しました。産業機械市場向けは、中国、その他アジア地域で客先需要が減退したことにより減少し、補修・市販市場向けも減少しました。この結果、売上高は為替の影響もあり41,333百万円（前年同期比1.0%減）となり、セグメント利益は生産会社の操業立上げなどの一時費用の増加により645百万円（前年同期比77.0%減）となりました。

▶ 売上高推移 (億円)



▶ セグメント利益推移 (億円)



▶ 「現地・現物・現人」によるグローバル化の加速

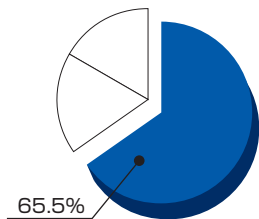
- ・中国事業本部の新設
- ・恩梯恩LYC(洛陽)精密軸承有限公司の生産開始
- ・南京恩梯恩精密機電有限公司の一貫生産開始
- ・タイの2番目の生産拠点ピントン工場の建設
- ・タイで鍛造・旋削を行うNTPT CO., LTD.の設立
- ・インドチェンナイ工場の生産・販売開始
- ・アセアン・大洋州・インド・西アジア事業本部の新設

営業概況

客先需要が減退した欧州を除く全地域で販売が増加

客先需要が減退した欧州を除く全地域で販売が増加し、売上高は174,665百万円（前年同期比6.9%増）となりました。営業損益につきましては、為替の影響や米州での販売の増加に伴う生産ラインの負荷増による特別な費用の増加などにより6,171百万円の営業損失（前年同期は1,496百万円の営業損失）となりました。

平成25年3月期（第2四半期累計）
自動車市場向け 売上高構成比



営業概況

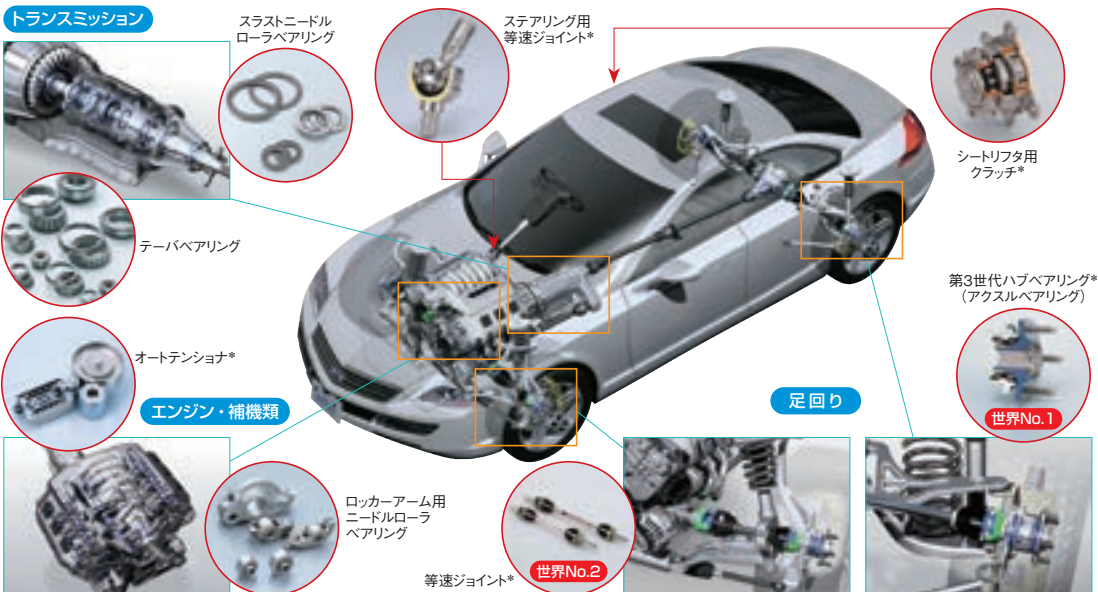
客先需要の減退により

客先需要の減退により販売が減少し、売上高は47,577百万円（前年同期比12.9%減）となり、営業利益は963百万円（前年同期比58.9%減）となりました。

自動車

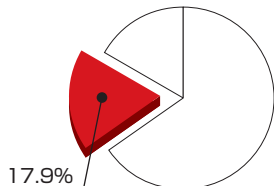
NTNのベアリングや等速ジョイントは、目に見えないところで自動車の安全で快適な走行を支え、さらに燃料資源の効率的な消費にも貢献しています。小型・軽量・低トルク化に加え、NTN-SNRの持つ高いセンサ技術の活用やインホイールモータなど次世代自動車に向けた開発にも力を注いでいます。

なるほど、
ここにも
NTN。



販売が減少

平成25年3月期(第2四半期累計)
産業機械市場向け 売上高構成比



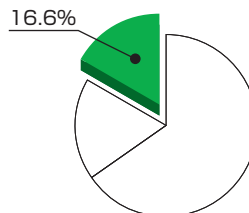
補修・市販市場向け

営業概況

客先需要の減退により販売が減少

客先需要の減退により販売が減少し、売上高は44,356百万円(前年同期比7.7%減)となり、営業利益は7,349百万円(前年同期比25.6%減)となりました。

平成25年3月期(第2四半期累計)
補修・市販市場向け売上高構成比



なるほど、
ここにも
NTN。

風力発電 (風力発電機用軸受)

風力発電機に使用される軸受のすべて(主軸用・増減速機用・発電機用など)を製造しています。風力発電は、CO₂を排出しないクリーンエネルギーを供給することから世界的に需要が拡大しており、特に当社の商品は高い信頼性と長寿命などで、風力発電機メーカーから高く評価されています。

主軸用軸受*
外径：1,580mm



風力発電機ナセル部

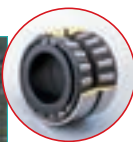
増減速機用軸受*
外径：980mm



なるほど、
ここにも
NTN。

新幹線 (鉄道車両用軸受)

世界中で鉄道車両用軸受の需要が拡大している中、当社は鉄道車両向けの軸受到力を入れています。鉄道車両用軸受は使用環境が厳しく、高度な安全性・信頼性が求められます。当社の軸受は日本の新幹線やフランスのTGVをはじめ世界各国の高速鉄道車両に採用されており、品質と技術力の高さが評価されています。



新幹線N700系
鉄道車両用軸受*



TGV鉄道車両用軸受*
外径：250mm



©NTN/NSNR/Graphic Obsession

なるほど、
ここにも
NTN。

航空機 (ジェット・エンジン用軸受)

当社の航空機のジェットエンジン用軸受は、約200℃の高温下で毎分1万回転を継続できる性能が評価され、世界の三大ジェットエンジンメーカーに採用されています。今後は需要が伸びるリージョナルジェットで販売を拡大していきます。また日本のH-IIA・H-IIBロケットに当社のターボポンプ用軸受が、また小惑星探査機「はやぶさ」にも当社の球面すべり軸受が採用されました。



ジェットエンジン用軸受
外径：527mm



*構造を見やすくするため、商品をカットした写真を掲載しています。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (平成24年9月30日)	前期 (平成24年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	372,555	362,318
現金及び預金	43,538	39,360
受取手形及び売掛金	106,292	119,494
有価証券	34,000	10,000
商品及び製品	88,617	85,083
仕掛品	41,883	42,682
原材料及び貯蔵品	28,057	27,341
繰延税金資産	5,129	4,355
短期貸付金	3,952	6,331
その他	21,657	28,300
貸倒引当金	△573	△632
固定資産	335,881	330,939
有形固定資産	273,447	265,682
建物及び構築物(純額)	69,740	68,380
機械装置及び運搬具(純額)	131,543	129,516
その他(純額)	72,163	67,785
無形固定資産	5,309	4,541
のれん	428	278
その他	4,881	4,262
投資その他の資産	57,124	60,716
投資有価証券	31,186	37,036
繰延税金資産	24,157	21,865
その他	2,004	1,971
貸倒引当金	△224	△156
資産合計	708,436	693,257

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (平成24年9月30日)	前期 (平成24年3月31日)
(負債の部)		
流動負債	283,863	282,293
支払手形及び買掛金	107,059	114,216
短期借入金	120,693	116,131
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	1,431	2,677
役員賞与引当金	10	93
その他	44,668	49,175
固定負債	228,245	198,837
社債	—	10,000
長期借入金	185,526	145,846
退職給付引当金	32,589	33,018
製品補償引当金	1,036	778
その他	9,093	9,192
負債合計	512,108	481,131
(純資産の部)		
株主資本	230,402	234,797
資本金	54,346	54,346
資本剰余金	67,369	67,369
利益剰余金	109,200	113,595
自己株式	△515	△514
その他の包括利益累計額	△48,505	△37,892
その他有価証券評価差額金	1,186	3,396
為替換算調整勘定	△45,889	△37,262
退職給付に係る調整額	△3,801	△4,026
少数株主持分	14,431	15,222
純資産合計	196,327	212,126
負債純資産合計	708,436	693,257

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) 〔平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで〕	前第2四半期(累計) 〔平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで〕
売上高	266,599	266,066
売上原価	229,041	220,268
売上総利益	37,557	45,797
販売費及び一般管理費	35,416	35,075
営業利益	2,141	10,722
営業外収益	2,073	2,225
受取利息	243	133
受取配当金	268	410
持分法による投資利益	329	503
その他	1,232	1,177
営業外費用	5,761	4,295
支払利息	1,902	1,659
為替差損	1,786	986
その他	2,073	1,648
経常利益又は経常損失(△)	△1,546	8,652
特別利益	1,593	—
投資有価証券売却益	1,593	—
特別損失	2,280	2,171
投資有価証券評価損	2,280	740
地震関連費用	—	743
事業再編費用	—	580
固定資産売却損	—	107
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△2,233	6,480
法人税等	△849	2,196
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,383	4,284
少数株主利益	351	559
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△1,734	3,725

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) 〔平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで〕	前第2四半期(累計) 〔平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで〕
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,404	4,655
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,795	△25,742
財務活動によるキャッシュ・フロー	46,979	10,434
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,511	2,013
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	26,099	△8,639
現金及び現金同等物の期首残高	52,605	40,081
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	214	107
現金及び現金同等物の四半期末残高	78,919	31,549

当期の配当について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最重要方針の一つと考えております。配当につきましては、中長期的な視点から安定的に配当を継続することを基本として、業績、配当性向、経営環境等を勘案し、決定いたしてまいりました。

しかしながら、世界経済の減速を背景とした客先需要の減退や円高の影響など厳しい事業環境が続いており、さらに第3四半期以降に「財務体質の抜本的な改善を目的とした構造改革」を行い、関連費用を特別損失に計上する予定であり、大幅な当期純損失を計上する見通しです。

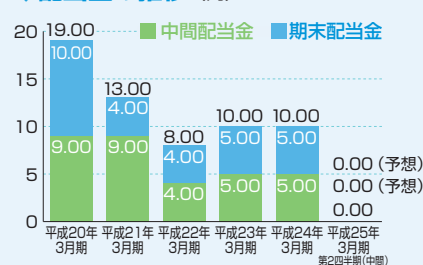
このような状況を勘案し、誠に遺憾ではございますが、当期の中間配当につきましては無配とさせていただきます。また、利益を創出する企業体質への変革に向けて、第114期下期には人件費・固定費の大幅な削減、設備投資の絞り込みに加え、棚卸資産の徹底した削減等の負の要因を出しきる緊急対策を実施しており、期末配当につきましても無配とさせていただく予定です。

今後の構造改革を通じて、速やかに財務体質の改善を図り、株主の皆様に対する利益還元を実現してまいります。

◎中間配当金

無配

◇配当金の推移(円)



次世代EVシステム事業の更なる展開

～EVの普及が進む欧州市場を含め、グローバルで次世代EVの早期普及に向けた活動を展開～

フランスで小型EV用インホイールモータ搭載EVの実証実験を開始

当社は、ベアリングの研究開発で培った技術を応用し、早くからインホイールモータの開発を進めております。昨年から、静岡県および静岡県磐田市と連携して実証実験を開始し、本年6月からは「小型EV用インホイールモータシステム」を搭載した二人乗り小型EVの実証実験をフランスで初めて開始しました。

特長

- 薄型ハブベアリングを採用しホイール内に格納
- 減速機、駆動モータ、ハブベアリング、制御システム（インバータ含む）を一体化

フランス・アヌシー市で実証実験を開始した小型EV用インホイールモータシステム搭載の二人乗り小型EV



小型EV用インホイールモータシステム



減速機+モータ

ハブベアリング



実験車両を「アヌシー国際アニメーション映画祭」のオープニングイベントで紹介、イベント期間中、各会場の移動に使用されました。またコンセプトモデル「Q'mo」のデモ走行も行われました。

「Q'mo（キューモ）」による「真横（まよこ）移動」や「その場回転」のデモ走行



ドイツの「自動車アフターマーケット展示会（オートメカニカ2012）」で、「イノベーションアワード」を受賞

当社が開発したインホイールモータシステムが、本年9月11日から16日まで、ドイツのフランクフルトで開催された世界最大規模の自動車アフターマーケット展示会「Automechanika2012」（オートメカニカ2012）において、部品部門のイノベーションアワードを受賞しました。

当社の欧州子会社であるNTN-SNR社が「イノベーションとR&D」をテーマに出展。インホイールモータシステムを搭載したコンセプトモデル「Q'mo（キューモ）」と「二人乗り電動コミュータ」等を展示しました。

会場では部門ごとに最も優れた新技術が表彰され、当社のインホイールモータシステムが部品部門のイノベーションアワードを受賞しました。



NTN-SNRブース



部品部門のイノベーションアワードを受賞



受賞したインホイールモータシステム

会社情報

■ 当社の概要 (平成24年9月30日現在)

社名	NTN株式会社
商標	
創業	1918年3月
設立	1934年3月
資本金	543億円
従業員	5,571名(連結:21,605名)
事業内容	軸受、等速ジョイント、 精密機器商品等の製造及び販売

株式情報

■ 株主数及び株式数 (平成24年9月30日現在)

- 株主数.....35,383名
- 発行済株式数.....532,463,527株

■ 大株主 (平成24年9月30日現在)

株主名	所有株数 (千株)	出資比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	32,935	6.18
第一生命保険株式会社	23,278	4.37
明治安田生命保険相互会社	22,467	4.21
株式会社三菱東京UFJ銀行	21,674	4.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	19,800	3.71
三菱UFJ信託銀行株式会社	11,870	2.22
NTN共栄会	11,676	2.19
日本生命保険相互会社	11,507	2.16
東京海上日動火災保険株式会社	9,659	1.81
野村信託銀行株式会社(投信口)	7,344	1.37

■ 役員 (平成24年9月30日現在)

取締役会長 (代表取締役)	鈴木 泰 信
取締役社長 (代表取締役)	高木 重 義
取締役副社長 (代表取締役)	岡田 健 治
専務取締役	米谷 福 松
常務取締役	高井 博 均
常務取締役	井上 博 信
常務取締役	安田 喜 義
取締役	加藤 博 啓
取締役	大久保 博 啓
取締役	大橋 博 啓
取締役	大川 和 今
*1 取締役	田西 章 瑞
*2 常勤監査役	引田 野 忠
常勤監査役	加護 野 忠
*2 監査役	石井 教 文
*2 監査役	

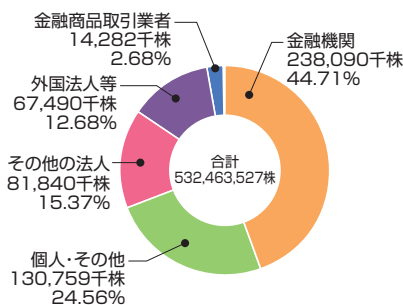
*1印は会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
*2印は会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

常務執行役員	近藤 幸 哲	ディベ	日本 藤 尾	山波 谷 井	松前 鯛 本	鳥 河 井	岩 井	磨 下	阪 迫 高 藤 阪
執行役員	松 富 井 細 安 赤 宮 鶴 梅 森 辻 白 十 小 岸 播 比 岡 尾 龜 後 寺	ディベ	日本 藤 尾	山波 谷 井	松前 鯛 本	鳥 河 井	岩 井	磨 下	阪 迫 高 藤 阪
執行役員	近 藤 幸 哲	ディベ	日本 藤 尾	山波 谷 井	松前 鯛 本	鳥 河 井	岩 井	磨 下	阪 迫 高 藤 阪
執行役員	近 藤 幸 哲	ディベ	日本 藤 尾	山波 谷 井	松前 鯛 本	鳥 河 井	岩 井	磨 下	阪 迫 高 藤 阪
執行役員	近 藤 幸 哲	ディベ	日本 藤 尾	山波 谷 井	松前 鯛 本	鳥 河 井	岩 井	磨 下	阪 迫 高 藤 阪
執行役員	近 藤 幸 哲	ディベ	日本 藤 尾	山波 谷 井	松前 鯛 本	鳥 河 井	岩 井	磨 下	阪 迫 高 藤 阪
執行役員	近 藤 幸 哲	ディベ	日本 藤 尾	山波 谷 井	松前 鯛 本	鳥 河 井	岩 井	磨 下	阪 迫 高 藤 阪
執行役員	近 藤 幸 哲	ディベ	日本 藤 尾	山波 谷 井	松前 鯛 本	鳥 河 井	岩 井	磨 下	阪 迫 高 藤 阪
執行役員	近 藤 幸 哲	ディベ	日本 藤 尾	山波 谷 井	松前 鯛 本	鳥 河 井	岩 井	磨 下	阪 迫 高 藤 阪
執行役員	近 藤 幸 哲	ディベ	日本 藤 尾	山波 谷 井	松前 鯛 本	鳥 河 井	岩 井	磨 下	阪 迫 高 藤 阪

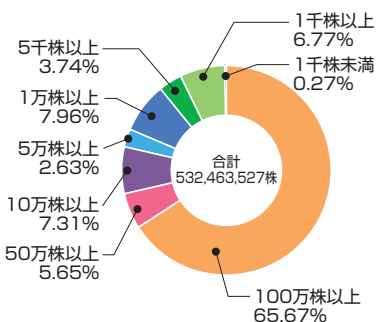
会計監査人 新日本有限責任監査法人

■ 株式分布状況 (平成24年9月30日現在)

● 所有者別



● 所有株数別



ホームページのご案内

NTNのホームページでは、株主・投資家の皆様向けに企業情報や財務情報を豊富に掲載しています。最新のトピックスを随時更新し、CSR活動への取り組みや技術関連情報、企業広告の紹介など、幅広い内容となっています。NTNをより深くご理解いただくため、ぜひご覧ください。

<http://www.ntn.co.jp>



▲ 株主・投資家情報



▲ 社会的責任報告書
[NTNレポート](アニュアル&CSRレポート)



▲ おしえて!!ベアベア
親子で学ぼうベアリング

■ 主な事業所 (平成24年9月30日現在)

本社	大阪市西区京町堀1丁目3番17号
【自動車事業本部】	
関東自動車支社	東京都港区港南2丁目16番2号
宇都宮自動車支社	栃木県宇都宮市馬場通り2丁目1番1号
北関東自動車支社	群馬県太田市東本町2番22番31号
東海自動車支社	愛知県安城市三河安城町1丁目4番地4
浜松自動車支社	浜松市中区板屋町110番地の5
大阪自動車支社	大阪市西区京町堀1丁目3番17号
広島自動車支社	広島市南区的場町1丁目2番19号
磐田製作所	静岡県磐田市東貝塚1578番地
岡山製作所	岡山県備前市畠田500番地の1
【産業機械事業本部】	
東北支社	仙台市青葉区本町1丁目5番28号
東京支社	東京都港区港南2丁目16番2号
西関東支社	相模原市中央区中央3丁目14番7号
名古屋支社	名古屋市中区錦2丁目3番4号
大阪支社	大阪市西区京町堀1丁目3番17号
広島支社	広島市南区的場町1丁目2番19号
九州支社	北九州市小倉北区上到津2丁目4番19号
桑名製作所	三重県桑名市大字東方字土島2454番地
長野製作所	長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14017-11

■ 主な関係会社 (平成24年9月30日現在)

● 主な連結子会社

株式会社NTN金剛製作所
NTN精密樹脂株式会社
株式会社NTN三重製作所
株式会社NTN宝達志水製作所
株式会社NTN能登製作所
株式会社NTN赤磐製作所
日本科学冶金株式会社
NTN USA CORP. (アメリカ)
NTN BEARING CORP. OF AMERICA (アメリカ)
NTN DRIVESHAFT, INC. (アメリカ)
AMERICAN NTN BEARING MFG. CORP. (アメリカ)
NTN-BOWER CORP. (アメリカ)
NTN BEARING CORP. OF CANADA LTD. (カナダ)
NTN do Brasil Produção de Semi-Eixos Ltda. (ブラジル)
NTN Wälzlager (Europa) G.m.b.H. (ドイツ)
NTN Kugellagerfabrik (Deutschland) G.m.b.H. (ドイツ)
NTN TRANSMISSIONS EUROPE (フランス)
NTN-SNR ROULEMENTS (フランス)
恩梯恩(中国)投資有限公司(中国)
南京恩梯恩精密機電有限公司(中国)
上海恩梯恩精密機電有限公司(中国)
恩梯恩LYC(洛陽)精密軸承有限公司(中国)
NTN BEARING-SINGAPORE (PTE) LTD. (シンガポール)
NTN MANUFACTURING (THAILAND) CO., LTD. (タイ)

● 主な持分法適用関連会社

東培工業股份有限公司(台湾)
台惟工業股份有限公司(台湾)



◎ 株主メモ ◎

- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 事業年度終了後3か月内
- 基準日 毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主をもって、その事業年度に関する定時株主総会において権利を行使することができる株主とします。その他必要あるときは、あらかじめ公告して、基準日を定めます。
- 剰余金の配当 3月31日
受領株主確定日
- 中間配当 9月30日
受領株主確定日
- 公告方法 電子公告
ただし、電子公告によることのできない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載の場合のホームページアドレス
《<http://www.ntn.co.jp>》
- 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関
〒100-8212
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

- 同連絡先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話(通話料無料) 0120-094-777
- ご注意 1. 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。